



シュピールヴァーレンメッセの軌跡（1949 年–2026 年）概要

- 1949 年** メルクリン社のカール・エーマン、ドイツ玩具協会の専務理事エルンスト・テオドル・ホルン、VEDES 理事のアルノ・ドロットボーム、GAMA 社のハンス・マンゴルトが、ニュルンベルクで業界向け玩具見本市を開催するために実行委員会設立を決定。
- 1950 年** 第 1 回ドイツ玩具見本市が 3 月 12 日から 18 日に開催される。出展 351 社、来場者 4,300 人（うち 600 人がドイツ国外から）で、当時西ドイツの経済相だったルートヴィヒ・エアハルトが開会宣言をした。会場はニュルンベルク市内にあったヴィーゼラー・ハウス内およびその周辺。初回開催の成功を受けて、実行委員会と 46 社による有限責任協同組合（eGmbH）が設立される。経営陣はエルンスト・テオドル・ホルンとフリッツ・ドレッシャー。
- 1951 年** ニュルンベルク旧市街の城壁塔に代わって木馬が見本市のシンボルに。このシンボルは以後さまざまな形でシュピールヴァーレンメッセのロゴ象徴として使用されることになる。
- 1956 年** フリッツ・ドレッシャーがシュピールヴァーレンメッセ社（eG）の単独社長に就任。
- 1957 年** 来場者数が初めて 1 万人を突破して 11,500 人に（うち 4,000 人はドイツ国外から）。
- 1958 年** ドイツ国外からの出展を本格的に受け入れるようになり、名称を「ドイツ玩具見本市」から「ニュルンベルク国際玩具見本市」へ変更。この開始年には出展 830 社中 60 社がドイツ国外の企業となり、翌年には倍増、以降も増加を続けた。来場者も 12,000 人のうち 3 分の 1 がドイツ国外からとなる。
- 1973 年** ニュルンベルク南部のラングヴァッサー地区に記録的短期間で新設された展示会場に移転。展示面積 52,000 m²を確保したことで、製品カテゴリ別の展示が初めて可能となった。
- 1974 年** 4 月 1 日、ドイツ玩具協会の専務理事ベンノ・コルブマツハーがシュピールヴァーレンメッセ社の社長に就任する。見本市会場拡張のため、メッセハレン社（現ニュルンベルクメッセ社の前身）と交渉を進める。同時に国際的プレゼンスをさらに強化。
- 1977 年** 来場者数が初めて 3 万人を突破。出展 1,567 社のうちドイツ国外からは 644 社。
- 1984 年** 12 月 14 日に見本市会場内にフランケンハレがオープン。これにより展示面積が 1 万 m²拡大する。



- 1991 年** 国際化がさらに強化され、出展社数が 2,000 社を突破。総出展 2,078 社のうち 938 社がドイツ国外、来場者 51,140 人のうち 15,737 人がドイツ国外からとなる。
- 1996 年** ゲルト・ビゼが社長に就任。
- 1997 年** マーケティング活動を全世界的に拡大。それに伴い、ロゴをリニューアル。また名称も「シュピールヴァーレンメッセ・インターナショナル・トイフェア・ニュルンベルク（シュピールヴァーレンメッセ・ニュルンベルク国際玩具見本市）」に改称。
- 1998 年** ホール 12.2 に「常設ブース」という新しい展示形式を導入。約 30 社の有名ブランドが年間契約で参加。
- 1999 年** 開催 50 周年を祝う。記念書籍『50 Years of Spielwarenmesse Nürnberg: The Story of a Success』を出版。
- 2001 年** ドイツ連邦首相ゲアハルト・シュレーダーが第 52 回開催を宣言。
- 2002 年** 4 月 26 日から 12 月 1 日まで、ハンス＝ユルゲン・リッターがシュピールヴァーレンメッセ社の暫定取締役役に就任。その後、エルンスト・キックが新たなスポークスパーソンとして就任し、翌年 6 月に社長に正式就任。
- 2003 年** ドイツ連邦大統領ヨハネス・ラウが開会を宣言。
- 2004 年** 新製品を紹介・表彰する「イノベーションセンター」と「トイアワード」を開始。業界ノウハウの共有を目的とした「インダストリーフォーラム（2009 年以降は「トイビジネスフォーラム」）」も初開催。
- 2005 年** 4 月 1 日、ハンス＝ユルゲン・リッターが法務・組合員業務担当の取締役に就任。また、同年の見本市開催に合わせ、ニュルンベルク市と連携したマーケティング企画「Enjoy Toy Fair City（後に「ToyCity」に改称）」が始動。
- 2007 年** ホール 4A が完成し、展示総面積が 16 万㎡に拡大。来場者の利便性に応じて展示ホール配置と製品グループの再編が可能になった。
- 2009 年** 開催 60 周年を迎える。ドイツ連邦首相アンゲラ・メルケルが開会を宣言。「Made in China」の高品質製品を紹介する中国企業のパビリオンが誕生。
- 2013 年** 「Spielwarenmesse（シュピールヴァーレンメッセ）」がドイツ特許商標庁により正式に商標登録される。以後、正式名称は「シュピールヴァーレンメッセ」となり、サブタイトルとして使用していた「インターナショナル・トイフェア・ニュルンベルク」は廃止となった。
- 2018 年** 68 か国から 2,902 社が出展し、過去最高を記録。



- 2021 年** 新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止。代わりに「Spielwarenmesse BrandNew」としてデジタルで製品を紹介。この年、シュピールヴァーレンメッセ社の経営陣はフロリアン・ヘス、イェンス・プフリーガー、クリスティアン・ウルヒの3名体制に移行。
- 2022 年** パンデミックの影響で再び開催中止。デジタルプラットフォーム「Spielwarenmesse Digital」を新設し、製品紹介やネットワーク作りを提供。
- 2025 年** 第74回シュピールヴァーレンメッセで新しいホール構成を採用。建築デザインが特徴的なホール 3C を初めて使用。20周年を迎えた「トイビジネスフォーラム」は、新しいコンセプトとデザインで展開。
また、シュピールヴァーレンメッセ社も設立75周年を迎える。
- 2026 年** 75回目のシュピールヴァーレンメッセがニュルンベルクで開催。

画像は www.spielwarenmesse.de/media からご自由にお使いいただけます。

2025 年 10 月 13 日(sr)

Spielwarenmesse®

シュピールヴァーレンメッセは世界の玩具業界を牽引するグローバルなイベントです。ニュルンベルクで開催されるこの専門見本市では、業界のキープレイヤーのみならずスタートアップも世界各地からの来場者様にイノベーションやトレンドを発表します。各参加者にとって最も重要な場所であるシュピールヴァーレンメッセでは、多種多様な製品に出会えるだけでなく、日々のビジネスに役立つ多くのインスピレーションや貴重で有益な業界知識や市場の動向も得ることができます。その他、機能満載のプラットフォーム『シュピールヴァーレンメッセ・デジタル(Spielwarenmesse Digital)』と電子ジャーナル『スピリット・オブ・プレイ(Spirit of Play)』で一年中玩具に関するテーマ、市場分析、業界の最新情報をお届けしています。2013 年より見本市の名称 Spielwarenmesse®がドイツ国内で商標登録されました。

次回のシュピールヴァーレンメッセは 2026 年 1 月 27 日(火)～1 月 31 日(土)に開催されます。

シュピールヴァーレンメッセ社・プレス担当

スカーレット・ヴィゾツキ(Scarlett Wisotzki) / 広報部長

Tel(英語・ドイツ語): +49-911-99813-33

Email(英語・ドイツ語): presse@spielwarenmesse.de

プレスリリース



*日本語でのお問合せは、シュピールヴァーレンメッセ日本代表部
m.inui@spielwarenmesse.jp が承ります。